

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

| | |
|------|--|
| 会議名 | 第1回村上市上下水道事業審議会 |
| 年月日 | 令和3年2月19日（金） 14:00～16:16 |
| 会場 | 村上市役所神林支所 3階 大会議室 |
| 出席委員 | 大串葉子（リモート）、鷺見英司（リモート）鈴木信嘉、梅田久子 遠藤誠作（リモート）、山中日出男（リモート）、瀬賀秀雄【委員7名】 |
| 欠席委員 | 山貝有紀子【委員1名】 |
| 事務局 | 市長 高橋邦芳 上下水道課 課長 山田知行、参事 今井雅仁 経営企画室 副参事 林奈美、副参事 長谷部淳 業務室 室長 東敏之 工事管理室 室長 小田康隆、副参事 菅原和英、副参事 渡辺貴志 係長 伊藤勝志、係長 松田政和、主任 中村優也 【事務局12人】 |
| 傍聴者 | なし |
| 次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長挨拶 3 委員の自己紹介 4 市職員の自己紹介 5 会長、副会長の選出 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 審議会の運営に関する事項について (2) 上下水道事業の概要 7 次回の審議会日程について 8 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 事務連絡 9 閉会 <p>1 開会 本日の審議会の成立について、 委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>2 市長挨拶</p> <p>3 委員の自己紹介</p> <p>4 市職員の自己紹介</p> |
| 事務局 | <p>5 会長、副会長の選出</p> <p>会長、副会長については、審議会条例第5条により委員の互選により定めることになるが、委員から提案があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>事務局案があればお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>本審議会は、上下水道料金の改定及び上下水道事業の適正な経営などについて審議いただく中で、会長、副会長は審議を進めるうえで中立的な立場で、かつ、経営に関して精通された方が適任だと考えている。事務局からの提案として、会長には大串委員、また、副会長には鷺見委員にお願いしたいと考えている。</p> <p>(各委員から異議なしとの声)</p> <p><会長には大串委員、副会長には鷺見委員が就任></p> |
| 会長 | <p>昨年の今頃から、日本のみならず世界中が一変し、飲食店の営業が制約され緊急事態宣言という、日本ではよもやこういうような外出制限が起きるかという事態が生じ、コロナ渦において、インフラの再構築、再点検そして滞りない運営が喫緊の課題であり、これをしっかり審議することによって村上市を今よりもずっと住みやすいようにしていきたいと思う。</p> <p>これから村上市の上下水道が円滑に運営され皆様の生活が守られるかということについて議論できればと考える。</p> <p>(市長退席)</p> |
| | <p>6 議事</p> <p>(1) 審議会の運営に関する事項について</p> |
| 事務局 | <p><「村上市上下水道事業審議会の進め方について」説明…資料1></p> <p>(会長から委員へ意見を求めたが、特に意見は無く原案どおり承認される。)</p> |
| 事務局 | <p><「村上市上下水道事業審議会の傍聴に関することについて」説明…資料1></p> <p>(会長から委員へ意見を求めたが、特に意見は無く原案どおり承認される。)</p> |
| | <p>(2) 上下水道事業の概要</p> |
| 事務局 | <p><「水道事業の概要について」説明…資料2～10></p> |
| 委員 | <p>資料2「村上市水道事業の概要」9ページに記載の用途別使用料金の推移のその他というのは何か。</p> |
| 事務局 | <p>例えば、家を新築するときに建築業者が臨時で使用したものである。</p> |
| 委員 | <p>職員が足りない、特に技術職の職員の採用が思うようにならないとの話を聞いているが、現状がどうなっているか聞かせてほしい。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 事務局 | <p>上下水道課に限らず、市全体で技術職員が不足しているが、少しずつ改善されている。</p> |
| 委員 事務局 | <p>職員定員適正化計画との関りはいかがか、人員的には足りているか。 3年前から職員定員適正化計画の見直しを検討している。</p> |
| 会長 | <p>上下水道課統合時6名の減員となったが、課が統合されたばかりで企業会計の適用もあり、適正かどうかについてはもう少し状況を見極める必要がある。</p> |
| 委員 | <p>エンジニアが少ないという状況はどの分野でも全国的に問題になっていて、そのため民間の方々と連携してどのようにして予防保全、インフラを守っていくのかが大きな課題になっている。</p> |
| 委員 | <p>人員が足りないという話は全国にある。その要因は、自治体の技術についての認識が甘く、技術職を育てられない環境にあることによる。水道事業も下水道事業も多額の投資をしており、資産状況、施設状況を把握している職員がいない組織では、民間であれば倒産する。職員が異動により数年で交代しており、こうした状況を見直さないと事業の持続性を保つことは難しいと考える。</p> |
| 委員 | <p>施設更新を例にとると、耐用年数以上に使用できる施設、できない施設の見極めを誰が判断するのか。コンサルタントに委託するにしても、更新計画時、業者がその都度代わる可能性がある。そのため、施設管理に精通した職員が配置されていないと、施設更新の際、施設を全て交換することになり、一番費用が掛かる結果になる。使用料で維持管理費を回収できていないものが、これから人口減少により使用料がさらに減少する中、施設維持費用が変わらないとすれば、ますます維持は難しくなる。</p> |
| 委員 | <p>北海道のある市は合流式の処理場を市が委託せずに直営で管理してコストを抑えており、人口が少ない自治体でも直営は可能。</p> |
| 委員 | <p>ある自治体は、平成6年に浄水場を新設した際に全て委託したが、20年を経て、技術継承ができなかったと感じている。技術的な知見のない自治体が事業を経営していることに疑問を感じる。</p> |
| 委員 | <p>村上市域は特に広大で効率は良くない。</p> |
| 委員 | <p>また経営戦略であるが、事業が多岐にわたり網羅的になってしまう。戦略を展開する上で柱となるものが見えにくい。よって、経営戦略を大胆に見直していかないと市の上下水道事業の経営はかなり追い込まれてくると思う。</p> |
| 委員 | <p>今審議会で、これから委員の皆さん方の様々な立場からの意見をうかがって、市として判断していただき見極めをお願いしたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>なお、簡易水道事業で高額な維持費が必要な膜処理を導入しているが、水質に恵まれているところで、どうして膜処理なのか、次回審議会で聞かせてほしい。</p> |
| 委員 | <p>全国的にも施設維持、料金回収の問題を抱えている自治体は多いが、大胆に解決策を講じているところもある。</p> |
| 委員 | <p>例えば、静岡県のある自治体は、下水道の経営戦略審議会の中で下水道計画処理区</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>域を、3分の1程度に縮小した。集合処理区域に効率的な問題があるのであれば大胆に変更する。収入面で厳しいようであれば見込める収入の範囲で事業運営を図ることを考えないと、企業的な運営は難しいと考える。</p> |
| 委員 | <p>この審議会で重点的に審議していただきたいところを明確にしてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>また、今年度の開催予定、スケジュールも考慮して検討していきたい。</p> |
| | <p>技術職が不足してスキルも低下している傾向にある。最近は一定の期間で人事異動になることが多く、技術職員は長期間同じ部署に勤務させるよう要望している。</p> |
| | <p>施設の維持管理につきましては、少しずつではありますが事務改善を図っている。</p> |
| 委員 | <p>膜処理については導入経緯等を含め次回以降に説明する。審議会の開催数、スケジュールについては、今回いただいた意見を元にもう一度検討する。</p> |
| 事務局 | <p>村上地区と荒川地区の水洗化率が低いが、公共ますは全部つなぎ終えているのか</p> |
| | <p>村上地区は来年度で下水道の整備区域の工事が概成するが、整備区域以外の公共ますがないところは合併浄化槽で対応している。</p> |
| | <p>荒川地区は整備を終えているが、最近まで下水道を整備していたことから接続が遅れているため水洗化率が低くなっている。</p> |
| 委員 | <p>いかにして水洗化率を上昇させるか、公共ますにつないでいただけるかが重要なことである。</p> |
| 事務局 | <p>水洗化率の向上を図っていく。</p> |
| 委員 | <p>今回こういった成果物を作成するのかが不明確で、どういう成果物に向かって審議会が議論すればいいのか方向性を示してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>現在の上下水道事業の経営状態を把握していただきたく審議会を開催し、特に下水道事業が今の料金体系では維持管理ができない状況である。最終的には適正な料金について検討することになると思われるが、第2期審議会では諮問せず、第3期審議会</p> |
| | <p>で事業の方向性が見え始めたときに諮問することで審議会を進めていく予定である。</p> |
| 会長 | <p>元々の市の方針としては、今説明があったとおりにと思われるが、これからの上下水道の持続性に役立つ意見を提案できればと思う。</p> |
| 委員 | <p>組織としては、上下水道の担当が統合されたが、企業経営の部分と公共性の部分とを切り分けて議論する必要があるのかと思う。</p> |
| | <p>また、類似団体と比較して企業債残高と収益の比率について、村上市は収益率が低いが無故低くなったのか、分析結果があれば、その対策も考え易く、建設的な議論にもなるのではないかと思う。</p> |
| 会長 | <p>まだまだ意見等があると思うので、事務局にメール等で質問や要望を送っていただき、第2回の審議会から建設的な議論が多くできればと思う。</p> |
| 事務局 | <p>7 次回の審議会日程について</p> |
| | <p>審議会前は、上下水道事業会計の令和2年度の決算書を作成の上、経営分析がまとまる時期を予定していましたが、委員から現地視察の提案もあり、コロナ渦もある</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>ので、事務局で調整させていただき提案する。</p> <p>8 その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <p>〈事務局から委員の報酬及び旅費について説明〉</p> |
| 副会長 | <p>9 閉会</p> <p>〈副会長挨拶〉</p> |